

大腸内視鏡検査を受けられる方へ

■初診・再診受付窓口

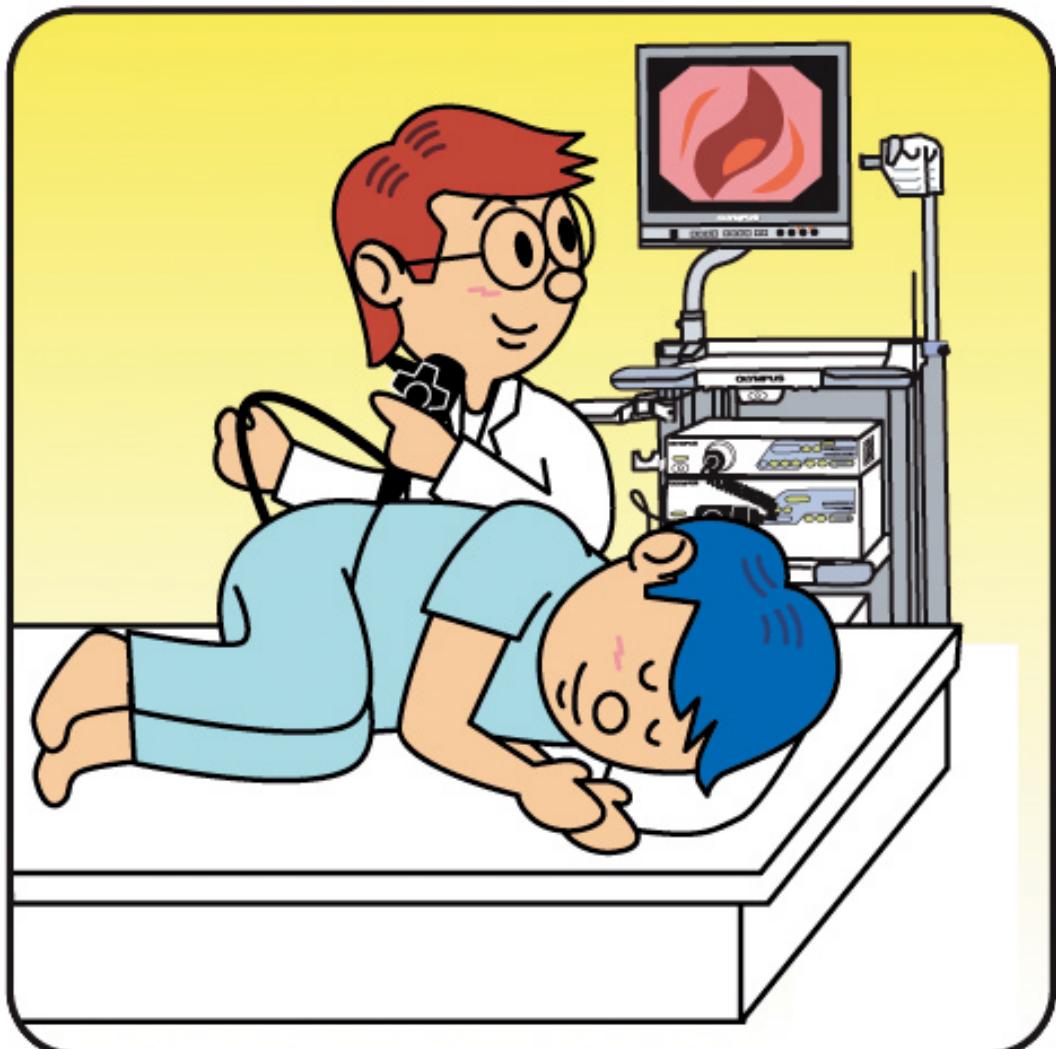
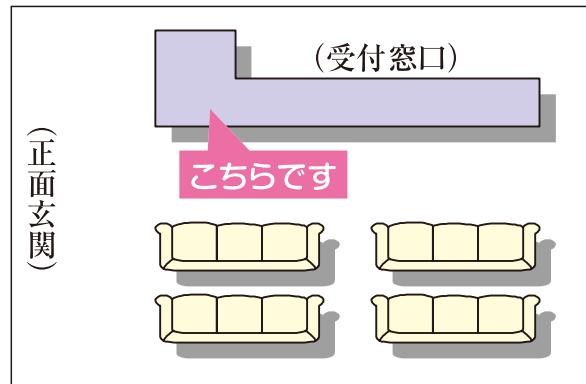
受付窓口

初診・再診受付

お持ちいただく物

保険証、紹介状、診察券（再診の方）

★検査前に、消化器センター科を受診していた
だき、必要な事前検査や問診を行います。



■検査について

この検査は、肛門から内視鏡を挿入して大腸の内腔を直接観察し、大腸の炎症性の病気（腸のただれ・きず）、大腸ポリープ、その他を診断する検査です。検査自体は20～30分で終わります。個人差はありますが、前処置（下剤服用、排便）に約4時間かかります。また、検査後も1時間ほど安静にしていただきます。当日は時間をつぶせるもの（本など）をお持ち頂くといいかもしれません。

※注意事項

- 尚、検査は1日がかりになりますので、ご了承ください。
- 検査可能な状態になった方より順に検査をさせて頂きます。



■検査前の準備について

大腸内をからっぽにして検査を行います。前処置は、来院後に行いますが、スムーズに前処置・検査を行うための注意事項を以下に示します。

●検査3日前

- 検査3日前より野菜を控えてください。
- 便秘の方は3～4日前から下剤を服用し、毎日排便するようにして下さい。（かかりつけ医に相談してください）

●検査前日

- 夕食は、早めに済ませてください。夜9時以降は水分のみで、何も食べないようにしてください。
- 水分は、適度にとっていただいても結構です。（水、お茶、スポーツドリンクのみ）
- 牛乳などの乳製品の摂取は控えてください。

●検査前及び検査当日の注意

- 朝は朝食をとらずにお越し下さい。（少量の水、お茶は結構です。）
- 検査当日はゆったりとした服装でお越し下さい。
- 現在、服用されていますお薬については、かかりつけ医の指示に従ってください。
- 抗凝固剤、抗血小板剤（ワーファリン・パナルジン・ペルサンチンなど）を、服用中の方は、かかりつけ医に中止の可否について指示を仰いでください。
- 糖尿病治療薬の内服またはインシュリン治療中の方は、検査当日は中止してください。
- 下着が汚れることがございますので念のため、下着の替えをご持参ください。必要な方は、紙おむつ、パット等もご持参ください。

★当院では検査の苦痛軽減のために鎮静剤（静脈注射）を使用した内視鏡検査を推奨しております。

内視鏡検査は、意識下に行うことも可能です。眠ったまま検査を行うことも可能ですので、当日担当医にご相談ください。



●鎮静剤使用下の内視鏡検査についての注意

- ・検査時に鎮静剤を使用された方は、終日車、バイクの運転を控えてください。

- ・鎮静剤使用の際には、検査後約1時間お休み頂いております。薬の効き具合によっては、さらにお休み頂くこともありますので、あらかじめご了承下さい。



●検査後の注意

- ・腸の動きを止める注射により、眼がチカチカしたり、咽頭痛、喉の渇き、喉の違和感があることがあります。症状が翌日以降にも現われた場合は、当院までご連絡ください。
- ・検査終了後、お腹に溜まったガスはしっかり出して下さい。
- ・高齢者の方、大きなポリープを切除された方、多発性ポリープを切除された方は、症状によっては検査終了後そのまま入院していただくか、後日の切除となる事がありますのでご了承下さい。
- ・当日ポリープを切除した場合は、1週間過度の運動及び飲酒を控えて下さい。又、万が一に出血をきたした場合は、速やかに対応が必要となりますので、遠方への外出はご遠慮下さい。
- ・医師が緊急時の対応等により予定時間に検査が出来ない場合がございますので、あらかじめご了承ください。



■交通のご案内

